

プリンストン高校との交流 3泊4日ホームステイ 生徒がおもてなし 書道体験も



プリンストン高校の一行が11月6日(火)から3泊4日の日程で来校し、本校生徒たちが交流会や授業などでもてなしました。

今回来校したのは、プリンストン高校で日本語を学ぶ生徒23名。京都、広島を訪問した後、本校との交流のため金沢を訪れました。本校の有志がホームステイを受け入れました。

初日は2年SGコースの生徒との交流会やホストバディ・クラスバディとの交流会が行われ、ゲームやお話をして親睦を深めました。放課後には、書道部がパフォーマンスを披露し、プリンストンの生徒たちを驚かせていました。

2日目は、プリンストンの生徒たちは授業に参加したり、書道体験をしたりして、日本の学校生活を体験してもらいました。



ホストバディ感想① 僕には将来の具体的な目標はないが、彼の話に感銘を受け、地域や社会に貢献できるような仕事に就きたいという気持ちが強くなったことを話した。将来、お互いが日本とアメリカという離れた土地で社会に貢献し、仕事を通して、友達として協力できたら素晴らしいと心から思った。

「将来、仕事で協力したい」「英語の大切さ学んだ」「素敵な経験に感謝」

ホストバディ感想② 今回の体験を通して学んだことは、これからの私の行動に生かしていきたいです。私に素敵な経験をさせてくれたバディである彼女に感謝したいです。

ホストバディ感想③ 最初は伝わる英語が話せるかとても不安でしたが、相手の子がフォローしてくれて、私もフォローしてと、気軽に会話を楽しむことができました。

ホストバディ感想④ 今回の出来事を通して、英語の大切さをより学べた気がする。英語を話すことができれば自分の世界はより広がると思う。継続して英語を学んでいきたい。

グローバル体験報告会

グローバルリーダー養成講座第4弾「グローバル体験報告会」は10月26日(金)にiStudioで開かれ、留学や海外での交流プログラムに参加した2年生が、参加した生徒たちに滞在中に経験したことや学んだことを話しました。



トピタテ! 留学 JAPAN でカナダに滞在した寺瀬菜月さんは、「英語はコミュニケーションの一つ。相手と関わろうとすることが大切」と話しました。このほか8人の2年生がプレゼンしました。

感想 留学は「英語を勉強する」というイメージが強かったので、オランダ語を話すところを選んだというのに驚きました。短期間ならまだしも、約1年も全く知らない言語の土地に行くというのはすごい決断でかっこいいと思いました。

感想 留学に行くことが目的ではなく、行ってから何を感じて、自分で何を行動するか考えることが大切だと分かりました。



2年SGコース海外研修

研究と自信を深めた1週間 発表や意見交換、ホームステイ…



2年SGコース米国海外研修は10月1日(月)から7泊8日の日程で行われました。

24Hの生徒がプリンストン高校やプリンストン大学、エコビレッジ・イサカなどを訪ね、現地の人たちに対して課題研究の発表や意見交換を行い、国際的な視点から研究を深めました。生徒にとって、体験活動やホームステイ等を経験し、多くのことを学ぶことができた充実の1週間となりました。

感想(プリンストン高校) 課題研究のテーマに関しては、やはりアメリカ人と日本人の感覚が、健康的な食事しようとする意識や野菜を食べようとする意識などの点で違っていたり、どちらの国でも食品ラベルを見て食品を買う人が少ないという点では一緒だったりしてとても興味深かった。



感想(プリンストン大学) 日本語でのプレゼンは意外と難しかった。母国語が日本語でない相手にとって分かりやすい言葉を選び、注意深く話さなければいけなかったからだ。大学生が解決策を考え、提案してくれたので、とても充実した議論になった。



感想(エコビレッジ・イサカ) プリンストン高校で大学生と話したときは違う価値観で、高齢者なりの意見をもらうことができたので、とても参考になった。イサカの人々はみんな生きがいがあって元気で幸せそうだった。私たちとは違う視点で問題を捉えている。イサカで食べた食べ物どれも美味しくて、新鮮なものが多く、オーガニックな生活の素晴らしさを学びました。

研修の行程

- 1日目: 由水南さんによる英語ワークショップ
- 2日目: ニューヨーク市内グループ別フィールドワーク、国連職員川守久栄氏によるレクチャー、スタイベサント高校交流
- 3日目: プリンストン高校での授業、ホームステイ(2泊)
- 4日目: プリンストン大学キャンパスツアー、日本語専攻生に対する課題研究プレゼン
- 5日目: プリンストン高校での授業、ホストパディとお別れ、コーネル大学日本語選択の学生有志によるキャンパスツアー
- 6日目: エコビレッジ・イサカにてレクチャー、ボランティア活動、課題研究に関する意見交換

感想(全体を通して) アメリカの学生は皆が自分の芯を持ち、貫いていくためのプランもある程度持っていると感じました。自分がどれだけの遅れているかを知り、芯をもって行動すること、自分から情報を入手していく態度がとても重要だと学びました。

感想(全体を通して) 次は私が、今回学んだことを、どう周りの人たちに還元していくか考える番であると思う。

本校卒業生から学ぶ in NY



ニューヨークでミュージカルを中心に舞台俳優として活動している由水南さんのワークショップに参加。グローバルに活躍する先輩と汗を流しました。

国連職員の川守久栄さんから、現在の世界が抱えている諸問題について現状や問題の解決にあたり何が最も難しいことであるか等の講義を受けました。



京都大学出前授業

京都大学高大連携学びコーディネーター事業
大学院生から生物多様性について学ぶ



グローバルリーダー養成講座第3弾「京都大学の大学院生に学ぼう」は10月19日(金)に開かれ、山守瑠奈さん(人間・環境学研究科関連環境学専攻)が「海の環境問題を考える」をテーマに話しました。全国各地の海で採取した様々な生き物の多彩な写真を見せながら「生物の多様性を証明することが環境保全につながる」と語った山守さんの言葉に、生徒は大きな刺激を受けた様子でした。生徒たちは「どれくらいの頻度でフィールドワークしているのか」「寄生された生物は寄生されてどう思っているのか」など、たくさんの質問をぶつけていました。